

ごあいさつ

この度は保管文書の誤廃棄防止にかかる情報システムのご提案の機会を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社では、専用車による機密書類の出張シュレッダー処理を全国で初めて実現するなど、常に廃棄物処理・運搬の分野では、業界のリーダーとなるべく取り組んで参りました。

2006年には情報セキュリティマネジメントシステムである I S M S (JIS Q 27001) の認証を取得 (登録番号 IS 503780) し、更なる業務品質の向上に常に取り組んでおります。

この度、廃棄物処理のプロとしての視線から、保管文書の年限管理から廃棄までをトータルに管理可能なシステム「Hokusei D System」を開発しました。保管文書の最終段階、廃棄に立ち会う弊社だからこそその各種ノウハウをもりこみ、特許も出願済 (特願2011-110053号) となっております。

平成25年2月20日

北清商事株式会社
代表取締役 大作 佳範

金融機関様における文書管理、廃棄に関わる課題の再整理

保管されているはずの文書が見つからない

検査・調査で持ち出した文書、持出チェックリストだけの管理になっていないでしょうか。戻す際にきちんと戻った確証はあるでしょうか。

誤廃棄を水際で食い止めるのには限界が

廃棄すべき文書をまとめて業者に渡しても、最終的に目視検査では100%の精度にはあがらないのが現実です。

いつどうやって廃棄されたか記録が残らない

いつ、どのような承認フローで廃棄されたか、という記録を積み上げていくことも重要なポイントです。

文書保管箱の中身は本当に正しい？

いったん箱に詰めた文書類、中身の整合性は最終的にはあけてみないとわかりませんが、廃棄する時は箱単位です...

本部で一元管理する方法はないか

営業店で保管されている文書類も、本部で一元的に情報が集約できるとより精度が上がるはずです。

そもそも文書保管箱はいくつある？

文書管理の基本は在庫管理と年限管理、これを正確に実施するには情報システムが不可欠です。

導入費用、ランニング費用共にお手軽な
オールインワンパッケージシステムによる
保管文書管理・誤廃棄防止の仕組みの導入により
高い費用対効果と安心・安全の実現を両立することが可能です。

1 低コスト



2 5重のチェック



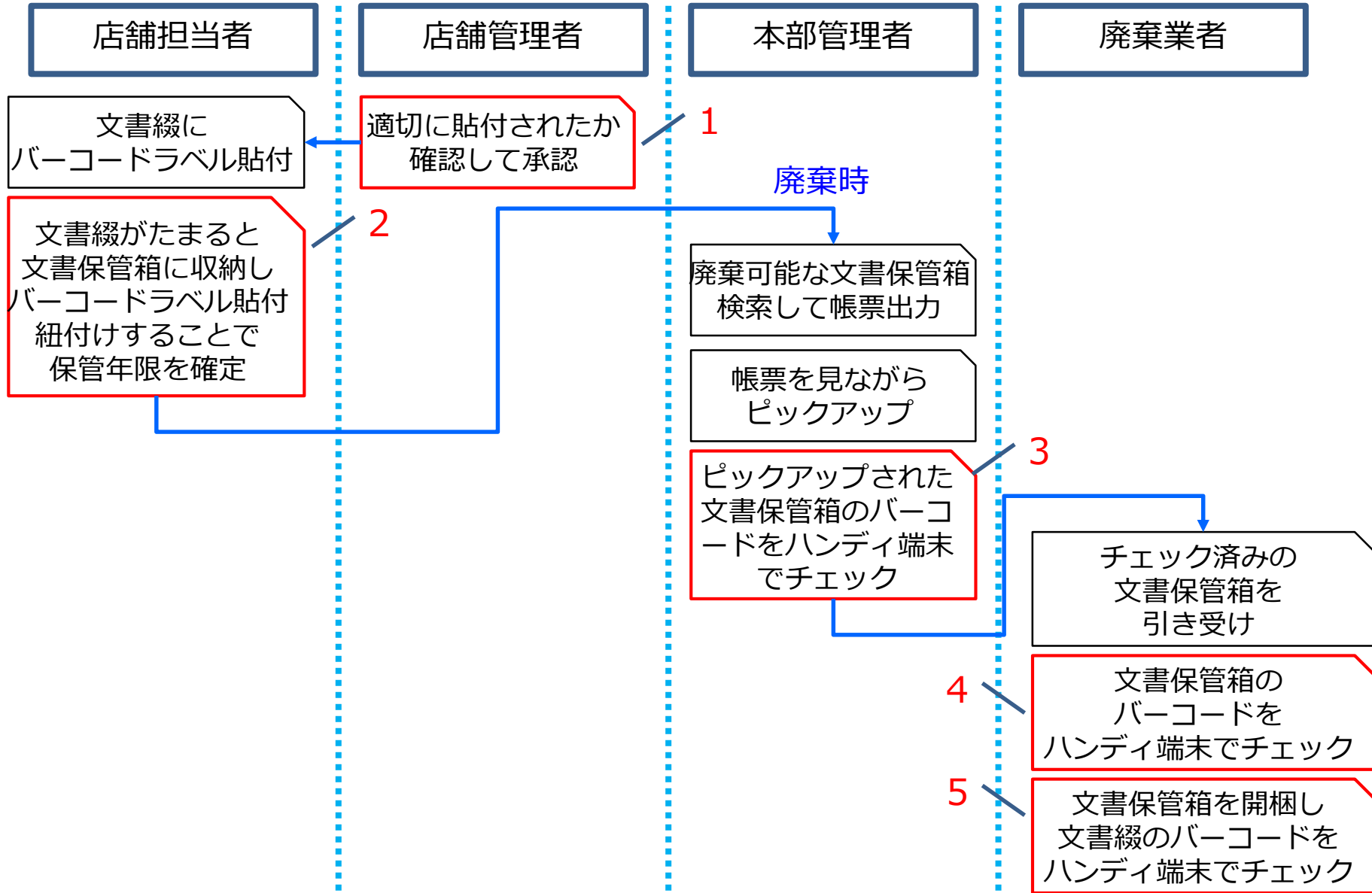
3 柔軟なシステム

金庫内の既存PCを活用し、必要なハードウェアはスキャナとハンディターミナル又は端末のみ、ソフトウェアも大変安価な設定となっており、システム導入と運用に係るコストを大きく抑えることが可能です。

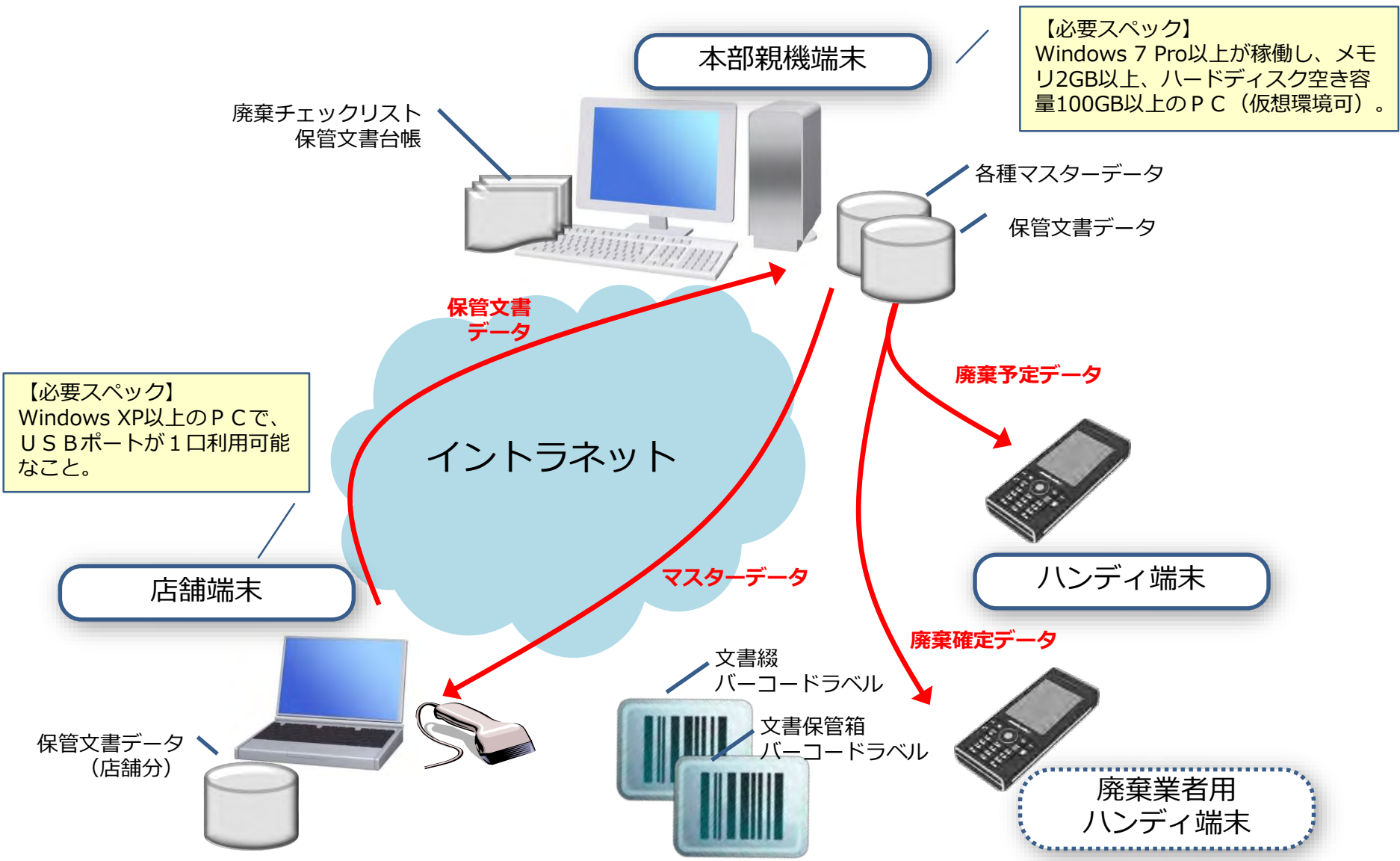
文書綴発生時、文書保管箱に収納するとき、役席者が承認するとき、廃棄チェックリストに則り準備するとき、廃棄業者の最終廃棄時と5つのタイミングで保管文書の年限管理と適切な廃棄処理が実現します。

システム形態は金庫内の既存PCを活用するライトC/S（クライアントサーバー）版に加え、シンクライアント化にも対応するWEB・タブレット版も用意、貴金庫の標準化情報システムに柔軟に対応します。

メリット② – 5重のチェック



ライトC/S版システム全体フロー





USBバーコードスキャナ

文書綴及び文書保管箱をシステムに登録する際のバーコード読み取りに使用します。営業店毎に1台必要となります。

一次元バーコードのみのCCDスキャナとなるため、安価にご提供することが可能です。



ハンディターミナル

PCがない場所（文書保管倉庫等）での持出／返却チェック、廃棄予定文書保管箱の総数チェック、廃棄業者側での最終廃棄確認に用いるハンディターミナルで、金庫様に最低1台ご用意いただく必要があります。データの受け渡しは店舗端末のUSBポート経由となります。



Androidタブレット

Android OSを採用したタブレットを採用することで、直感的、マニュアルレスのスムーズな操作感をご提供します。文書綴、文書保管箱の登録、破棄予定保管箱のチェックの他、一時持出や承認もすべてこれ1台で実行可能です。



Bluetooth接続スキャナ

タブレットとBluetoothで接続するレーザーバーコードスキャナです。ケーブルレスのため作業の自由度が確保されます。



無線LANアクセスポイント

タブレットを金庫イントラネットに接続するためのアクセスポイントです。SSID秘匿、暗号化通信により接続するためセキュリティに問題が生じることはありません。

Hokusei D Systemでの文書登録運用フロー

初期導入時

既存文書保存箱に箱用バーコードラベルを貼付



バーコードをスキャンしてシステムに登録

文書綴作成時

発生した文書綴に綴用バーコードラベルを貼付



バーコードをスキャンしてシステムに登録

文書箱収納時

たまった文書綴を保存箱に収納



文書保存箱に箱用バーコードラベルを貼付



バーコードをスキャンしてシステムに登録

既存文書保存箱用
バーコードラベル

	旭川信用金庫			
<input type="text"/>	年度	廃棄 予定	<input type="text"/>	年度末

綴用バーコードラベル

	旭川信用金庫
---	--------

箱用バーコードラベル

	旭川信用金庫			
25	年度	廃棄 予定	<input type="text"/>	年度末

※各ラベルは印刷済の専用ラベルを
ご購入いただきます。

Hokusei D Systemでの運用画面イメージ

文書綴バーコードの紐付け登録

伝票綴へ貼付するバーコードを発行します
支店名 本店
伝票種別 伝票
帳票日付 H22年度 2011年2月21日
2011年2月21日
通番 No. 1 発行枚数 1枚
確認して発行

発生都度、文書（伝票）綴単位で綴用ラベルのバーコードをスキャンしてシステムに登録

役席者の承認

承認
ABC銀行
平成23年02月21日22:25
作業者: 管理者
承認済行ラベルをダブルクリックしてください
再度がダブルクリックすると承認を解除できます (承認画面を貼付すると取り消しできませんのでご注意ください)
未承認ラベル一覧 伝票件数: 1 件 承認件数: 1 件
伝票種別 発行日 帳票日付(始末) 通番 連番 発行者
伝票 H22年度02月
戻る

役席者は登録された文書綴を検索して承認登録、ダブルチェックでデータの精度を向上

保管文書データを本部集約、検索可能

ABC銀行
平成23年02月21日22:16
作業者: 管理者
検索条件 帳票日付 2011年2月21日 ~ 2011年2月21日 発行日 2011年2月21日
2011年2月21日 2011年2月21日 商業可能年度 2011年度
検索 CSV出力
検索結果一覧
表名 帳票種別 通番 連番
戻る

様々な検索条件を指定して検索を実行、保管文書の所在、状況等を一覧表示、CSV出力も可能

文書保管箱バーコードの紐付け登録

伝票保管箱へ貼付するバーコードを発行します
保管箱に入れる伝票綴のバーコードをスキャンして
※同様のバーコードをスキャンするとキャンセルできます
並び替え スキャン種 H22年度 伝票
支店 伝票種別 通番 連番 帳票日付
本店 伝票 1 1 H22年度
以上で完了
戻る

収納する全ての文書綴のバーコードをスキャンし、最後に箱用ラベルのバーコードをスキャンしてシステムに登録

箱用バーコードには、中の文書綴が紐付けされる

Hokusei D Systemでの文書廃棄運用フロー



ハンディターミナル又はタブレット+スキャナを活用し、廃棄時の最終チェックで誤廃棄防止を徹底します。廃棄時には廃棄業者側で文書綴の1つ1つをチェック可能「もしか」「はず」をなくし文書管理精度大幅アップを実現できます。

文書検索と廃棄チェックリストの出力

文書検索では、今どこにどの文書が保管されているかがリアルタイムに検索できます。廃棄に当たっては、保管場所を指定してチェックリストを出力します。

ハンディターミナルでの廃棄可否確認

保管場所ではチェックリストに基づき廃棄対象文書をピックアップし、さらにそのバーコードをハンディターミナルでスキャンすることで水際でも誤廃棄を防止します。

文書綴の廃棄チェックで精度大幅アップ

廃棄業者側で廃棄時に文書保管箱のバーコードの他、文書綴のバーコードを全てスキャンして廃棄記録を残すことが可能です。これにより誤廃棄、廃棄漏れを完全に排除できます。

廃棄業者への引渡

チェックされた文書だけを廃棄業者に引渡することで、確実に廃棄が完了するとともに廃棄の記録が残ります。